



choshi
お知らせ
news

必ず工事着手前に申請を 住宅リフォームなどの補助制度のご案内



問 都市整備室 ☎(21) 3511

住宅リフォームの工事費を補助

市内在住で市内施工業者と契約して20万円以上の
リフォーム工事を実施する人

▶条件

令和6年1月までに工事が完了する専用住宅か併用住宅

▶補助額 工事費総額に対する補助額は以下のとおり

20～50万円未満…**2万円**、50～100万円未満…**5万円**
100万円以上…**10万円**

公共下水道への接続工事でくみ取り便所を廃止する場合はさらに5万円、浄化槽を廃止する場合は3万円を増額。



木造住宅の耐震診断費・耐震改修費を補助

市内にある昭和56年5月31日以前に着工された2階建て
以下の一戸建ての専用住宅か併用住宅で居住していること
(令和6年2月までに診断・工事が完了すること)

▶耐震診断費補助額 費用の2分の1。上限**5万円**

▶耐震改修費補助額

設計費用の3分の1。上限**5万円**

工事と監理費用の3分の1。上限**45万円**

危険コンクリートブロック塀などの撤去費を補助

市内の道路に面した危険なブロック塀などを所有する人
(令和6年1月までに工事が完了すること)

▶補助額 費用の2分の1。上限**10万円**



市長コラム 93

【地域おこし協力隊】

銚子市長 越川 信一

保護猫活動に取り組む河野陽介さん。PR動画・YouTube動画の制作やイベントサウナを実施する望月瑛司さん。銚子電鉄の笠上黒生駅をリノベーションした小島大成さん。地場産品の魅力発信に挑む和田道也さん。銚子に住む外国人と日本人の交流を推進するロイターマン絵美さんと岡田哲史さん。銚子電鉄の販路拡大に独自のアイデアを發揮する西上逸揮さん。洋上風力を生かした地域活性化事業に取り組む榊建志さんがそれぞれのミッションを持って未来を拓く力を發揮、銚子に新しい風をおこしている。

地域おこし協力隊は、地域の活性化と人材育成をめざし、平成21年度に制度化。都市部から地方に住民票を異動し、地域おこし活動を行いながら、地域への移住・定住を図る取組だ。隊員は自治体の委嘱を受けて最長3年の活動ができ、活動経費は国が財政支援する。令和4年11月末、全国1116の自治体で6447人の隊員が活躍したが、国は隊員数を令和8年度までに1万人に増やす計画だ。

対象地域が拡大され、銚子市でも制度利用が可能になったことから、市は令和2年度から隊員募集をスタート。これまで23歳から61歳まで8名の隊員が誕生し、家族を含めた移住者は16名になった。兵庫県・豊岡市では50名、千葉県いすみ市でも20名の隊員を任命している。銚子の魅力を再発見し、地域に新たな気付きと活力をもたらしてくれる隊員をさらに増員し、移住・定住の推進と地域活性化につなげていきたい。